

# 電機・情報ユニオン

2023年5月10日 第140号

発行 電機・情報ユニオン

〒142-0043 東京都品川区二葉

2-20-8染野ビル2F

Tel03-6421-5323、Fax03-6421-5324

Email: denkiunion@gmail.com

## アップルの不正を正す民主的規制を

電機・情報ユニオンは5月4日(木・祝日)、「GAFAM(グーグル、アマゾン、フェイスブック、アップル)支配と民主的規制を支援する集会」を東京都南部労働会館で開催し、46名(会場25名、オンライン21名)が参加しました。

### GAFAMへの民主的規制 社会運動、労働組合運動を

龍谷大学の夏目啓二名誉教授は、講演「アップル社の世界市場支配―『GAFAM支配と民主的規制』の



5月4日(木)  
講演する夏目名誉教授(中央)

視点から」を行いました。夏目名誉教授は、

・米バイデン政権は、反トラスト法(独占禁止法)にもとづくGAFAMへの規制強化に乗り出している。  
・GAFAM支配の問題として、独占的な「ネット広告ビジネス(利用者は原材料・無断で情報を収集する対象で、顧客は広告主である)」がある。

・アップルは、株式時価総額(2兆8921億ドル)と経常利益額(11兆7924億円)は世界一だが、納税額はわずか不明。

・アップルは、約16万4000名の常勤従業員を雇用しているが、研究開発とマーケティングのみで、製造はなし。アップルの部品、製品、ロジスティクスは、アウトソーシングにより行われる、低コスト構造。

・アップルジャパンの2021年度の売上高は、259億7700万ドル(33兆7700億円)。合同会社形態のため、利益額は、公表されていない。など、アップルによる世界支配の状況と問題を解説し、

「米バイデン政権によるGAFAM規制は、経済的規制にとどまらず、個人のプライバシーや人権を守り、民主主義を守るうえで重要な社会的な規制といえる。民主的規制を求める社会運動、労働組合運動を起こそう」と強調しました。

### Appleの闘いに

#### 国際労働基準をいかして

電機・情報ユニオンの米田徳治中央執行委員長は、基調報告「世界の巨大企業Apple・その日本企業Apple」に抗して」を行いました。

米田委員長は、アップルジャパン合同会社の労働者が「偽装請負」告発のたまたかに立ち上がったこと、団体交渉の取組みを進めるなかで、アップルジャパン合同会社が得体の知れない企業構造であることが判明したことを報告し、「巨大企業Appleとの闘いに国際労働基準をいかしていこう」と呼びかけました。

### Appleの不正を正したい

65歳以降の雇用継続を求めている日立の村田光裕さん、女性差別是正に立ち上

がったルネサスの組合員、愛知支部からたまたかいを支援している長谷部支部副委員長の名が連帯する発言を行いました。

当該のAさんは、「偽装請負」を指摘したことにより「警告書」を出され、上司からのハラスメントが強まったことを告発し、「自分のことを含めて、Appleの不正を正したい。また、ユニオンの女性の人たちの話を聞くと私よりもっと酷い目にあっていることがわかりました。だから、私だけではなく、みんなと一緒に頑張っていきたいと思えます。皆さんのお力添えをよろしくお願いします。」と訴えました。

### 第140号の紹介

- 1面 アップルの不正を正す民主的規制を
- 2面 第94回メーデー  
米田委員長メッセージ113
- 3面 第5回電機リストラ対策交流集会
- 4面 交流のひろば、告知板、あとがき



# 平和生活人権 団結して前進させよう 第94回メーデー

働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう、の基本スローガンを掲げて5月1日(月)、第94回メーデーが全国256カ所で開かれました。



代々木公園での中央メーデー

代々木公園で開催された中央メーデーには、1万5000人が集い、当ユニオンからは、米田徳治中央執行委員長をはじめ6人が参加しました。

爽やかな天候のもとで人工芝に座り、中央舞台での主催者あいさつ、連帯あいさつ、各界の決意表明などが参加し、労働者の連帯・

に耳を傾け、4年ぶりの会場開催のメーデーをゆつくりと楽しみました。

都内3コースのデモ行進では、恵比寿コース(2.5km)の隊列に加わり、約1時間を行進しました。

電機・情報ユニオンの組合員らは、全国17か所(中央・東京、三多摩、高崎・西毛、本庄・児玉、北足立南部、茨城、神奈川、川崎、厚木、鎌倉、愛知、尾張東、大阪、兵庫、大分)で78名



愛知メーデー・デモ行進

団結・交流をはかりました。



高崎・西毛メーデー

## 口封じの「ルネサス株主総会」は許されない

3月30日に行われたルネサスの株主総会に出席した。今年度から初めて「バーチャルオンリー株主総会」ということで、口頭質疑応答を排除した形で行なわれた。マスコミ、アナリスト向けに行っているバーチャル説明会では、社長が一言一答で直接その場で回答している。

しかし、今株主総会が「バーチャルオンリー」と

なったことで、総会での追加の質問は、テキストデータ250文字の送信のみ。

私も送信したが意味不明の質問解釈となり、株主総会に参加している株主も質問内容もよくわからないまま、一方通行の社長答弁で再質問もできず、社長の一人芝居の総会で終わった。

ルネサスの2022年12月期決算は、自動車向け需要の好調さに為替の円安進

行が重なり、売上高(前期比)1.5倍の1兆5000億8億円、営業利益は2.4倍の4241億円で過去最高を記録した。しかし、ルネサスの労働者は、「変革プラン」と称するリストラ策で毎年100億円の賃金カットと労働条件が引き下げられたままである。

今株主総会の最大テーマは「賃下げした分を労働者に還元せよ」だ!

## 米田委員長メッセージ

大幅な利益確保しているこの機会に、今株主総会での最大のテーマである「賃下げした分を労働者に還元せよ」の質問状には回答拒否した。本来ならば、株主総会場に参加していれば直接口頭で質問ができる機会があったが、「バーチャルオンリー株主総会」という

ことで口頭質問は封じられる事態となった。バーチャルオンリー株主

総会開催の狙いが、「口封じ」が目的であったことが明らかにになった。今後、企業の説明責任放棄の「バーチャルオンリー株主総会」を変えさせる闘いが新たに加わることになった。

